

大会運営規定

- 1 球場等の開門は第1日目及び第2日目とも、午前7：00とする。
- 2 各チームは試合開始30分前までに集合すること。
- 3 ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
- 4 試合中ダックアウトに入ることのできる人員を次の通り制限する。
責任者、監督、コーチ、登録選手、マネージャー、スコアラーの計31名以内とするが、本大会は上記以外に熱中症対策として、選手の水分補給を目的にチーム関係者（男女を問わないが成人であること。）1名のベンチ入りを認める。但し、応援に係わる行為は禁止とし、応援行為を行った場合はベンチから除く。
- 5 大会運営上、試合前のシートノックを行わない。
- 6 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。但し、天然芝上では行わないこと。
- 7 試合回数はトーナメント方式6回戦とし、4回以降7点差、降雨・日没のコーゲームを適用するが1・2回戦は、3回以降10点差のコールドゲームを適用する。
- 8 全ての試合において90分を過ぎて新しいイニングへ入らないものとする。
- 9 規定のイニングを終了、又は、時間切れ同点の場合はタイブレイク制を適用する。
{*タイブレイク制}
継続打順の無死1・2塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者とする。
- 10 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
 - ・投手が投球できる球数を70球以内（4年生以下60球以内）に制限する。
 - ・試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃完了または、攻守交代までとする。
- 11 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球J号とする。
- 12 メンバー表は6部提出し、前の試合の4回終了後、大会本部にて交換する。（必ず、フリガナを付けること。）
- 13 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レグガード・ファウルカップを必ず着用すること。
- 14 上記及び金属バット、捕手用マスクはスロートガード付き公認マーク入りのものを使用すること。
- 15 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム（背番号0番から99番までとし、監督30番、コーチ29番、28番、主将10番とする）を着用すること。
- 16 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
- 17 本規定に定めていない事項、明確でない事項は公益財団法人全日本軟式野球連盟の定める規定・規則による。